

脱炭素社会づくりに向けた熟議の輪を広げる。

活動地域

東京都、神奈川県、北海道、埼玉県、鹿児島県

ひろげる助成

2年目

実践

活動内容と成果

三つの活動を推進

- ①脱炭素社会づくりに向けた地域レベルでの市民会議の開催
川崎市をモデル都市として、川崎市地球温暖化防止活動推進センターとの協働で、無作為抽出で選出の一般市民(75人)による「脱炭素かわさき市民会議」を開催し、77項目からなる市民目線での政策提言を発信。この成果を基に川崎モデルを形成し、普及を目指す
- ②高校生・高専生向け参加・熟議型脱炭素・エネルギー教育プログラムの開発・実践(筑波大学附属坂戸高校、立命館慶祥高校、鹿児島高等専門学校)
- ③脱炭素転換に向けた若手人材の育成



かわさき市民会議第6回 市民との集合写真

課題

脱炭素社会形成は、社会・まち・生活様式の変革、その促進政策づくりと市民参加を必要とするが、日本社会では、市民が討議を重ね意志を発信する参加・熟議が未成熟である。

目標

脱炭素転換に向けて、市民による徹底討議のための手法開発を実践を通じて推進し、定着を目指すとともに、若い世代を対象に参加・熟議に対する必要な能力を身につけてもらう。

今後の
展望

目標に向け着実に前進している。2050年カーボンゼロへの内外の追い風を受け、地域社会・高校・高専の教育現場と連携し、実践を積み上げ、脱炭素社会づくり参加・熟議型のプログラムの完成・普及に全力をあげたい。

脱炭素市民討議開催・
検討都市

5都市

参加・熟議型脱炭素
授業等実施校

3校

今年度計画の達成度

100%

目標達成度

50%

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

脱炭素市民会議では、市民から多様な提案が出されたが、各提案について、賛否など多くの見解が示され、集約に苦労したこと。

■工夫した点

消極的意見が多数でない限り、可能な限り提案を受け入れ、同時に参加者に提案ごとに賛否投票を行い、投票結果を提案とともに示した。



かわさき市民会議第6回討議の様子

〒215-0021

神奈川県川崎市麻生区上麻生

3-12-11 エスケーハイツ103

電話：044-387-0116

E-mail: office@inst-dep.com

HP: <http://inst-dep.com/>

